

令和 6 年度図書館そだて会議（落合図書館） 議事録

日時：2025 年 1 月 27 日

15 時 20 分～17 時

一般参加者：10 人、図書館：4 人

1. 開会あいさつ(尾崎館長)
2. 参加者自己紹介
3. 今年度の落合図書館の取り組みについて

図書館から報告

みらい計画の 5 本の柱に基づいて目標をたて、運営している。

前回のそだて会議やアンケートを踏まえて、計画を立てた。

- ・大活字本や朗読 CD など文字が読みづらくなった方でも利用できる資料を目に留まりやすい位置に移動などの資料整理を実施した。
- ・キッズルームの壁面や工作コーナーなどを充実させた。
- ・大人向けのイベントとして DVD 上映会やお飾りづくりの講座を開催した。
- ・中学校や高校との連携が行えておらず、意見を聞きたい。

4. 意見交換 & アイデア出し

- ・同じメンバーがそだて会議に参加しているのでは同じ意見しかでないのでは？ いろいろな人の意見を聞いたほうが良いのでは？
- ・専門書が真庭市図書館全体を見ても少ない。県立図書館などから取り寄せができるとはいっても図書館に行ったときに知りたい内容のものが見つかるといいなと思う。
→中央図書館は地区館より比較的専門書よりな本も収集している。
- ・図書館を知らない人はまだまだたくさんいる。図書館を使う権利が自分にもあるということを多くの市民に知ってもらえたらよいと思う。
- ・小学校の子が放課後に来て、宿題をしている様子はほかの図書館ではあまり見たことがない、それを活かして行けたらよいのでは？
- ・勉強できる個室があったり、おしゃべりしながら、図書館を利用できたらよい。パソコンを使いたい。食事できるスペースが欲しい。（真庭高校生参加者）
→パソコンは使っていただけるし、飲食もホワイエでできる。高校生へ落合図書館で何ができ

るかもっとわかれば利用する人も増えるかもしれない。

学習室の机の配置が利用しづらいのかもしれない、変更の余地あり。

- ・マンガが置いてあれば活字を読まない若い子も来やすい。
- ・図書館は静かにしないといけないというイメージがあるので、音楽がかかっていたら入りやすい。
→うるさいと感じる人もいるかもしれないので流すなら慎重に行う必要がある。
- ・高校の図書室はあまり利用されていないし、本をあまり読まない。授業で使うときは専門書が置いてある図書室を使うときもある。寮の通り道だから落合図書館にも行くことはあるかもしれない。
- ・高校の図書委員の活動はイベントのポスターやおすすめ本の紹介POPなどの作成、図書館で除籍した本の古本市などを行っている。図書館だよりも年3回発行（各学年で1回当番が回ってくる）している。図書館だよりはあまり読まれていない。
→高校で発行している図書館だよりやPOPを落合図書館で掲示したり、図書館の発行物を高校に置かせていただければ情報交換できるのではないか。
→（真庭高校）イベントのチラシなど校内に掲示することはできる
- ・以前、読み聞かせをして楽しかった。図書館で読み聞かせボランティアがあれば参加者はいるかもしれない。
- ・のれんが入口にあるとはいりやすいという情報を聞いたことがある。
- ・本や図書館に関心がある人はそんなに多いわけではない、いろいろなイベントを開催しても入館者や貸出数はぐっと増えるわけではないと思う。市民の1割ぐらいの人が図書館に興味を持って、きてくれたらいいぐらいの気持ちでいいのでは。
- ・読書通帳を記録としてずっと利用している。中央図書館の2階にあるコンパクトなものでもいいので、ほかの館にも置いてほしい。

その他

- ・本の貸出以外にも市民のみなさんとできることはあると思う。してみたいこと、こうなったらいいなどあれば教えてほしい。

閉会

以上